

# 2 県の財政

## 2025年度当初予算

一般会計、特別会計、企業会計の3会計を合わせて4兆4,444億余円で、2024年度当初予算額に比べて2.3%の増となっています。

このうち、一般会計は2兆9,413億余円で2024年度当初予算額に比べて5.2%の増となっています。

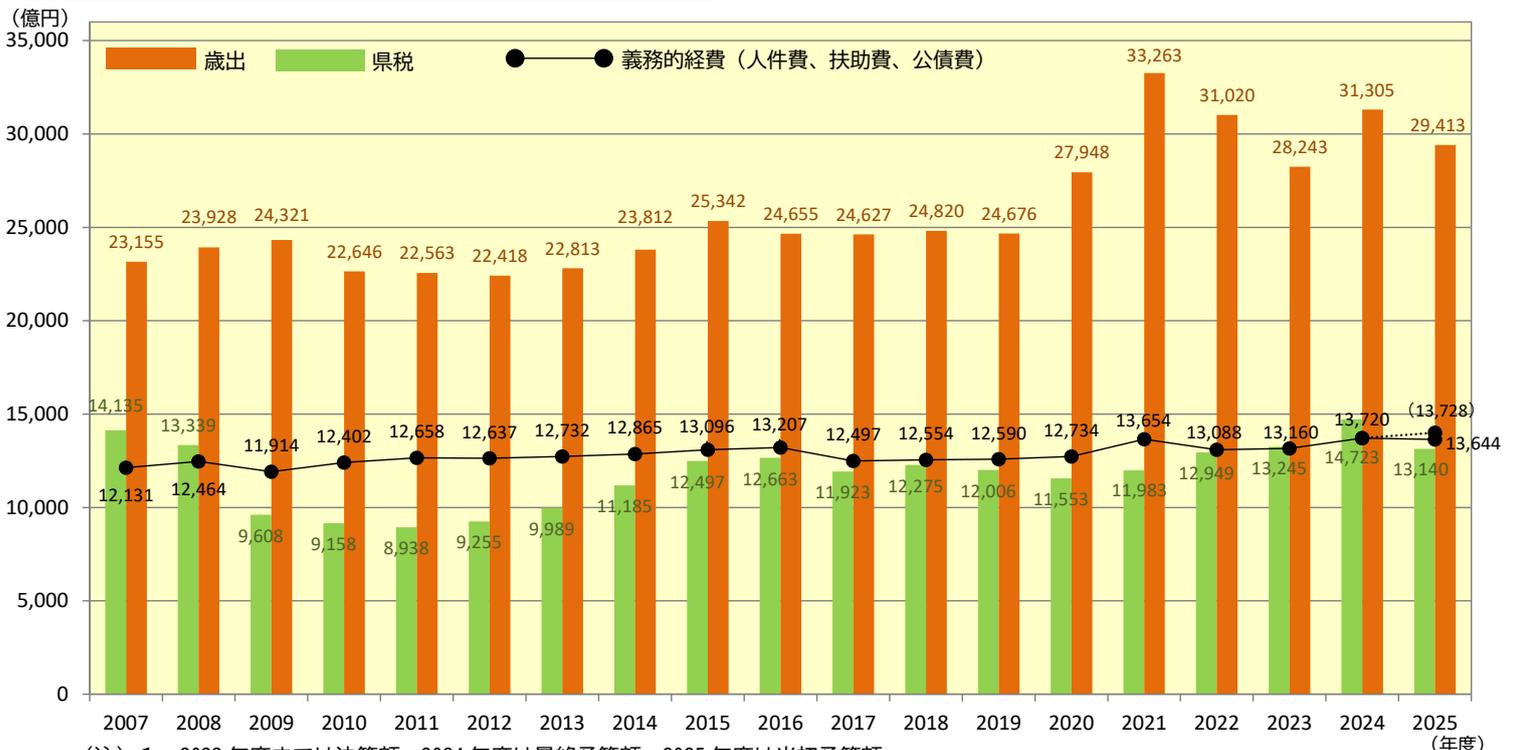
区分	予算額	伸率
一般会計	2兆9,413億 100万 円	5.2%
特別会計	1兆2,682億 3,073万 6千円	△4.3%
企業会計	2,349億 1,516万 8千円	5.5%
合計	4兆4,444億 4,690万 4千円	2.3%

## 県財政の現況

2025年度当初予算においては、企業収益の減少による法人二税の減収が見込まれるものの、定額減税の終了や個人所得の増加による個人県民税の増収が見込まれることから、定額減税の影響を除く県税全体としては、前年度と同水準を見込んでいます。一方、歳出では、医療・介護・子育てなどの扶助費や、民間企業の賃上げの影響を受ける人件費といった義務的経費が増加することなどから、依然として多額の収支不足が見込まれました。

引き続き厳しい財政状況ではありますが、2025年度当初予算は、愛知の成長・発展の推進力となる「ジブリパーク」や「STATION Ai」、さらには「IGアリーナ」との相乗効果を生み出しながら、日本の未来をつくるビッグプロジェクトをさらに大きく前進させ、愛知を勢い盛んに成長・発展させていくという思いを込め、「Make Aichi Great」予算として編成しました。

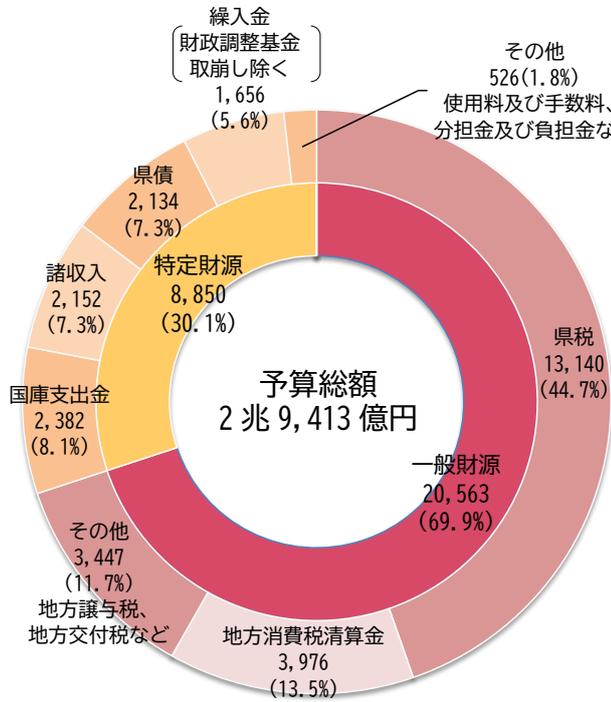
## 歳出規模と県税収入の推移



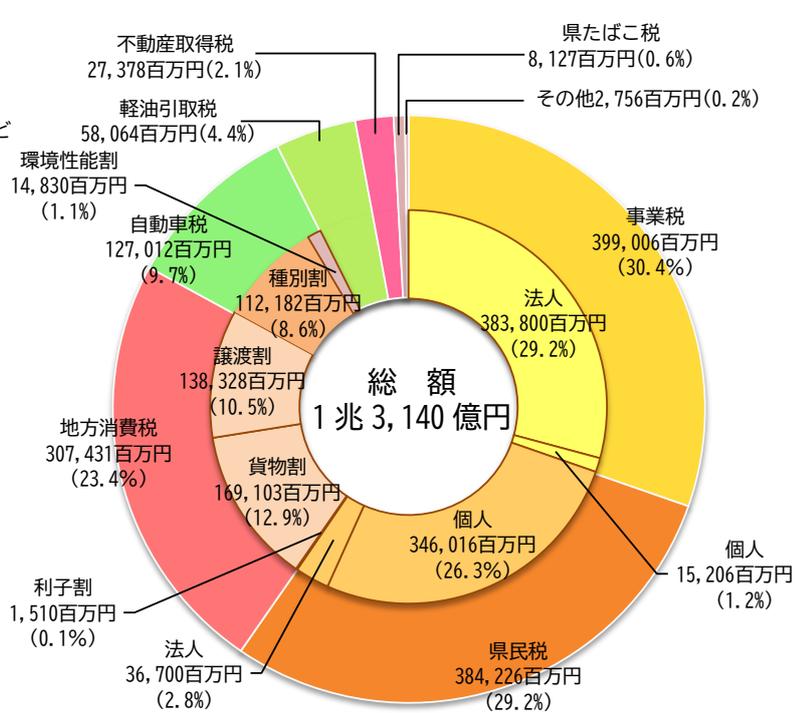
- (注) 1 2023年度までは決算額。2024年度は最終予算額。2025年度は当初予算額。  
 2 歳出及び義務的経費は借換債除きの規模。(義務的経費は最終予算額)  
 3 2025年度義務的経費の( )は、退職手当準化基金積立金(84億円)を含めた場合の規模。

# 2025年度一般会計予算の状況

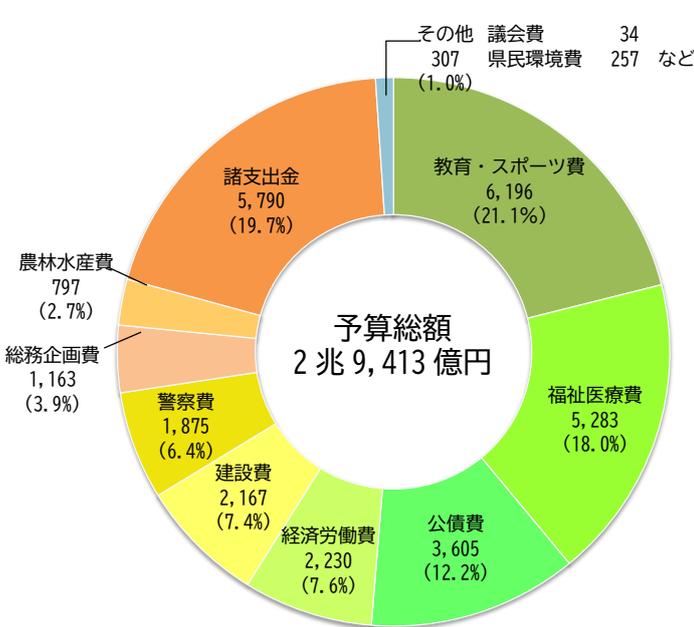
## ◆性質別歳入(単位:億円)



## ◆県税税目別内訳



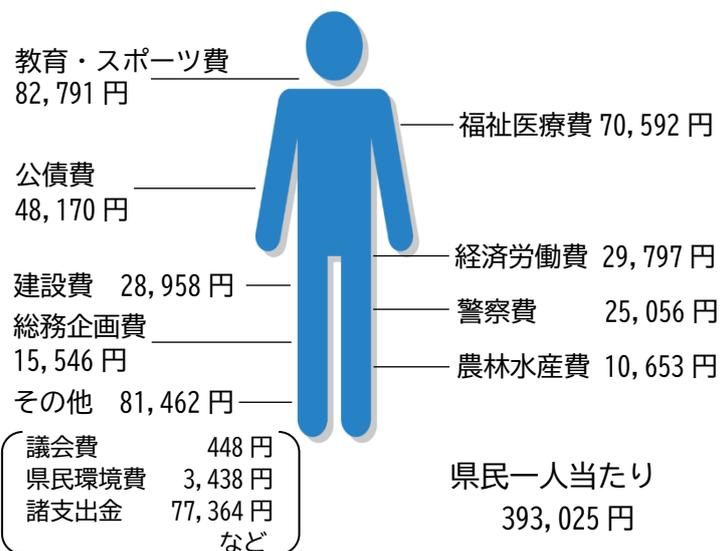
## ◆目的別歳出(単位:億円)



県民の皆さんに納めていただく県税は、県がさまざまな施策を進めるために必要となる大切な収入です。また、県の一般会計歳入予算の中でも大きな割合を占め、重要な財源となっています。その主なものは、事業税、県民税、地方消費税などです。

## ◆県民1人当たりの一般会計歳出額(単位:円)

(2025年1月1日現在住民基本台帳人口7,483,755人)



県の歳出を行政目的によって、議会費、福祉医療費、経済労働費、建設費、教育・スポーツ費等に分類したものを目的別歳出といいます。

小学校、中学校、高等学校の教職員の人件費、高等学校整備費及び私学助成などを主な内容とする教育・スポーツ費が21.1%、健康づくりや医療、福祉などの事業を行う福祉医療費が18.0%、また、県が借り入れた地方債の元利償還金等を支払う公債費が12.2%を占めており、この3費目で歳出全体の約5割を占めています。